

2025 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン フ ォ ネ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 日 下 部 拓 也
(コード番号：4444 東証グロース)
問 合 せ 先 広 報 室 平 塚 友 香
(TEL. 03-5221-7591)

2025 年 3 月期決算に関する質疑応答集 2

当社の 2025 年 3 月期決算に関して、当社で想定しておりました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお本開示は市場参加者のご理解を一層高めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q 1. 当期リリースされた中核プロダクト LENSАhub の状況について、主な導入状況を含む現状と今後の戦略について教えてください。

A 1. 2023 年 7 月にリリースした当社の中核 CMS プロダクト「LENSАhub」は、新規・既存両顧客における Web サイトのリプレース案件を中心に、順調に導入が進んでおります。LENSАhub は完全 SaaS 型・API ベースの設計で、拡張性と他社連携に優れており、導入企業数の増加がそのまま UI/UX の高度化につながる構造となっています。他社製品との連携を通じたエコシステムの構築により、さらなる導入促進と機能強化の好循環を生み出し、成長に弾みをつけてまいります。

Q 2. フロー収益が第 4Q で伸び、ストック収益も四半期ごとに着実に増加しています。今後、フローの伸びに応じてストック収益の伸びも増大するかについて教えてください。

A 2. 当社のビジネスモデルでは、受託開発（フロー収益）のほとんどが、CMS や AI サービス（月額課金型）への継続利用（ストック収益）へと移行する仕組みとなっております。したがって、フローの増加が確実にストック拡大へとつながる構造です。さらに近年は、M&A により SNS 運用等の周辺サービスも取り込んでおり、初期開発に依存しないアップセル・クロスセル型のストック収益モデルも強化中です。

Q 3. この数年来、M&A をされてきましたが、そのシナジーの状況及び、各社の業績状況について教えてください。また、グループ会社の今後の展開と M&A の方針について教えてください。

A 3. M&A によりグループに加わった各社は、収益面では安定的に推移しております。現在は PMI を進め、相互の顧客基盤を活用したサービス提案や人材のシェアリングなど、実務レベルでのシナジーを強化しています。今後も、Web を軸とした情報発信プラットフォームの構築を目指し、とくに AI 関連領域において戦略的な M&A を積極的に検討してまいります。

以 上